

■米国：ミシガン州議会で自由化枠拡大を含む電気料金値下げ策推進の動き

ミシガン州下院で多数派を占める共和党は 2013 年 1 月 30 日、2013～2014 年の行動計画を発表し、その中で電気料金値下げを課題のひとつとして挙げた。同計画では、2008 年に制定された州法で規定された、電気事業者の値上げ手続きと自由化枠上限(販売電力量 10%)の見直しを進めるとしている。昨年、民間機関が公表した調査では、2008 年以降の電気料金の高騰が顕著であるとしており、主に商工業用需要家から自由化枠拡大を望む声が上がっていた。この調査結果に対し、電気事業者は再エネ導入をはじめとした不可避なコストであるとし、政策転換が必要との意見に反論する姿勢を見せている。